

## 自然災害をきっかけに発生する製品事故 ～備えは万全に～ -近畿2府4県における事故の防止-

### 1. 自然災害をきっかけに発生した製品事故発生状況

NITE (ナイト) に通知された製品事故情報<sup>※1</sup>において、自然災害をきっかけに発生した製品事故は、近畿地方2府4県 (滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県) では、2009年度から2018年度までの10年間に合計6件ありました。

#### (1) 災害事象別 府県別 事故発生状況

表1に「災害事象別 府県別 事故発生件数」を示します。

表1 災害事象別 府県別 事故発生件数<sup>※2</sup> (単位: 件)

	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
雷			2	2			4
雪			2				2
合計	0	0	4	2	0	0	6

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故 (ヒヤリハット情報 (被害なし) を含む)

(※2) 対象外情報を除いた事故発生件数。

## 2. 自然災害をきっかけに発生した製品事故の事例

### (1) テレビ受信機（ブースター）が焼損

2018年9月 （大阪府、年齢・性別不明、拡大被害）

#### 【事故の内容】

ブースター付近から異音がし、火が出て、周辺が焦げた

#### 【事故の原因】

雷の影響により、テレビ受信機（ブースター）の電源回路部に過電圧が入ったため、部品が焼損したものと考えられる。

### (2) ガス給湯器が変形

2014年2月 （大阪府、年齢・性別不明、製品破損）

#### 【事故の内容】

屋外の壁面に設置されたガス給湯器から異音がし、フロントカバーが変形した。

#### 【事故の原因】

積雪により排気口部が閉塞された状態で給湯器を使用したことで、未燃ガスが機器内に滞留し、異常着火に至り、フロントカバーが変形したものと考えられる。

### 3. 非常用グッズの製品事故発生状況

NITE（ナイト）に通知された製品事故情報において、自然災害発生によりガスや電気が止まった際に使用される製品（非常用グッズ）による事故は、近畿地方2府4県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）では、2009年度から2018年度までの10年間に合計27件ありました。

#### (1) 製品別 府県別 事故発生状況

表2に「製品別 府県別 事故発生件数」を示します。

表2 製品別 府県別 事故発生件数<sup>※3</sup>（単位：件）

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
カセットこんろ		1 [ 1 ]	2 [ 2 ]	5 [ 4 ]	2 [ 2 ]	2 [ 2 ]		12 [ 11 ]
ガスカートリッジ直結型ガスこんろ		1	2 [ 1 ]	1 [ 1 ]	2 [ 2 ]			6 [ 4 ]
ライター				3 [ 1 ]	2			5 [ 1 ]
携帯発電機				1 [ 1 ]	1			2 [ 1 ]
モバイルバッテリー		1 [ 1 ]						1 [ 1 ]
乾電池					1			1 [ 0 ]
合計	事故件数 火災件数	3 [ 2 ]	4 [ 3 ]	10 [ 7 ]	8 [ 4 ]	2 [ 2 ]	0 [ 0 ]	27 [ 18 ]

(※3) 対象外情報を除いた事故発生件数。[ ]は火災件数。

#### (2) 府県別 被害状況

表3に「府県別 被害状況」を示します。

表3 府県別 被害状況<sup>※4</sup>（単位：件）

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
人的被害	軽傷		1 ( 1 ) [ 1 ]	3 ( 3 ) [ 1 ]	5 ( 8 ) [ 2 ]			9 ( 12 ) [ 4 ]
	拡大被害	1 [ 1 ]	2 [ 1 ]	7 [ 6 ]	3 [ 2 ]	2 [ 2 ]		15 ( 0 ) [ 12 ]
物的被害	製品破損	2 [ 1 ]	1 [ 1 ]					3 ( 0 ) [ 2 ]
合計	事故件数 被害者数 火災件数	3 ( 0 ) [ 2 ]	4 ( 1 ) [ 3 ]	10 ( 3 ) [ 7 ]	8 ( 8 ) [ 4 ]	2 ( 0 ) [ 2 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	27 ( 12 ) [ 18 ]

(※4) 対象外情報を除いた事故発生件数。( )は被害者数。[ ]は火災件数。表中において、製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。また、物的被害（製品破損または拡大被害）があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分している。

#### 4. 非常用グッズの製品事故の事例

##### (1) 携帯発電機の一酸化炭素中毒

2015年11月（兵庫県、年齢・性別不明、軽傷）

###### 【事故の内容】

工事現場で携帯発電機を使用中、一酸化炭素中毒で4名が軽症を負った。

###### 【事故の原因】

携帯発電機を屋内で十分な換気を行わないまま使用したため、一酸化炭素中毒に至ったものと考えられる。

##### (2) 経年劣化したカセットこんろで焼損

2018年9月（大阪府、20歳代・女性、拡大被害）

###### 【事故の内容】

使用中のカセットこんろの下部から火が出て、周辺を焼損した。

###### 【事故の原因】

長期使用（製造後約36年）により、ガスボンベ接続部のステムパッキン（ゴム製）に亀裂が生じてガスが漏れる状態だったためにガスが漏れ、カセットこんろ内部に滞留した未燃ガスにバーナー炎が引火して周囲を焼損したものと考えられる。

#### 5. 製品事故の映像について

再現映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像等をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE ロゴ」としてください。

##### （本件に関するお問い合わせ先）

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-22-16

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター

リスク評価広報課 課長 柿原 敬子

担当者：リスク評価広報課 向井

電話：06-6612-2066 FAX：06-6612-1617